

平成27年度当初予算編成の基本的な考え方

1 予算編成方針

(1) 統一地方選挙を控えたいわゆる「骨格予算」の編成

○原則、政策的な新規事業は6月補正で計上

○ただし、以下の事業については当初予算に計上

- ・人口減少対策および若狭さとうみハイウェイ（舞鶴若狭自動車道）・北陸新幹線を活かす施策などで、時機を逸せず速やかに実施すべき事業
- ・医療、福祉、教育など、県民生活に密接し、切れ目なく実施する必要がある事業

(2) 国の予算編成への的確な対応

○国の予算編成等の動向について情報収集・分析を徹底し、当初・6月補正を通じ的確に予算に反映

(3) 県内景気情勢への的確な対応

- 消費税率引上げの影響など県内景気を引き続き注視し、必要な措置を検討
- 国の景気対策等に関する情報収集に努め、必要に応じ追加措置を実施

(4) 市町との共働

○市町との役割分担の明確化による事業の効率化と十分な協議、情報の提供

2 シーリングの設定 ⇒ 6月現計見込みで設定

(1) 経常的経費 (標準外経費) 90%以内

(2) 政策的経費 90%以内

(3) 投資的経費 当初予算 公共70% 県単50%

但し、国の予算や地方財政計画等を踏まえ、予算編成時に変更あり

総務部財務企画課
担当：高嶋、高橋
TEL (0776) 20-0231
内線 2030、2031